

# 北海道産小麦菓子の過去と未来

**参加費 無料**  
**定員 350名様**

北海道を代表する菓子製造会社によるパネルディスカッションを行います。菓子製造における小麦の位置づけや、なぜ北海道産小麦を使用しているのか、実際に使用してみた感想をお話いただけます。また、それぞれの企業の理念や思いなど経営全般についても語り合ってください。

パネリスト panelist



石屋製菓株式会社  
代表取締役社長  
**石水 創 氏**

石水 創 (いしみずはじめ)  
1982年札幌市生まれ。35歳。東洋大学法学部経営法学科卒、光塩学園調理専門学校卒、小樽商科大学大学院修了。2004年石屋製菓入社。06年取締役、08年常務、09年専務、10年代表取締役副社長を経て、13年7月に代表取締役社長に就任。

石屋製菓株式会社

▶創業70周年を迎える石屋製菓のロングセラー商品「白い恋人」。北海道に根ざした菓子製造にこだわっています。2017年夏には北広島市に新工場が完成予定。



パネリスト panelist



株式会社きのとや  
代表取締役会長  
**長沼 昭夫 氏**

長沼 昭夫 (ながぬまあきお)  
1947年札幌市生まれ。69歳。北海道大学水産学部卒。76年北海道ダイエー〔株〕入社、83年洋菓子きのとや創業、85年株式会社きのとや設立、代表取締役に就任。2001年きのとや製菓株式会社設立、代表取締役に就任。15年株式会社きのとや代表取締役会長に就任。

株式会社きのとや

▶札幌市を中心に店舗を構える創業30年以上の洋菓子店。ケーキ各種をはじめ、ミルクの豊かな風味が広がるクッキー「札幌農学校」を販売。



パネリスト panelist



株式会社柳月 顧問  
**七海 武雄 氏**

七海 武雄 (ななうみたけお)  
1945年更別村生まれ。72歳。1960年更別村立更南中学校卒業、同年株式会社柳月入社。85年副工場長、98年工場長、2010年より現職。57年間職人一筋で、現社長や前社長から厚い信頼を得ています。

株式会社 柳月

▶第27回世界菓子博覧会モンドセレクション最高金賞を受賞した「三方六」。白樺の木肌をチョコレートで表現。半世紀以上愛され続けています。



**日時** 平成29年 **7月19日** 水 **19:00~21:00** (開場18:30)

**会場** **とかちプラザ レインボーホール**  
(帯広市西5条南7丁目1番地)

**お申し込み** E-mail [hokkaido.komugi.camp@gmail.com](mailto:hokkaido.komugi.camp@gmail.com)  
ご所属、ご連絡先、代表者氏名、参加人数をお送りください。

**FAX 015-576-3772**

必要事項をご記入のうえ送付ください。

コーディネーター  
coordinator



株式会社 満寿屋商店  
代表取締役社長  
**杉山 雅則 氏**

1976年帯広市生まれ。大学進学、米留学、大手製粉メーカー勤務を経て帰郷。2007年(株)満寿屋商店の4代目社長就任。2012年自社6店舗のパンを全て十勝産小麦に切り替えた。2016年東京本店を出店。農林水産省認定の「地産地消の仕事人」。

ご所属	※個人でのお申込みの方はご記入不要です	ご連絡先	
氏名 (代表者の方)		参加人数	名

※席は自由席となります。※ご予約されていない方はご入場できない可能性があります。

主催/北海道小麦キャンプ実行委員会

後援/農林水産省、北海道、(一社)日本洋菓子協会連合会、ホクレン農業協同組合連合会、北海道農業協同組合中央会、北海道経済連合会、フードバレーとかち推進協議会

お問い合わせ/TEL 015-576-4678 北海道小麦キャンプ2017事務局(株式会社ノースプロダクション内、担当:高橋)